

II 広島大学 II

エジプト日本科技大関係者来学

ハッサン・エルホフイー副学長代理らエジプト日本科学技術大学(EIJUST)の9人の関係者と国際協力機構(JICA)の関係者がこのほど、広島大学東広島キャンパスを訪問した。写真。

EIJUSTは、日本とエジプト両政府の二国間協定に基づき、エジプト政府が平成21年に設置した大学で、JICAが技術協力のプロジェクトを実施している。現在は大学院のみで学生を受け入れているが、学士課程の設置に向けた準備が進められている。



今回の訪問では、今年秋に予定されているEIJUSTの学士課程の設置に関することや、同大の特色ある取り組みである教養教育での平和科目の開講について活発な意見交換が行われた。特に、平和科目については、その目標やカリキュラム上の位置づけ、科目の内容等について多くの質問が寄せられ、その関心の高さがうかがわれた。

東広島市長 広島大で特別講義

広島大学東広島キャンパスの工学研究院長室で2月9日、佐野庸治大学院工学研究院長から藏田義雄東広島市長に客員教授辞令が手渡された。辞令交付式の後、平成18年4月の当選以来、東広島キャンパスがある東広島市の市政を担う藏田市長から、同市の魅力や、同市から世界に羽ばたく技術力の高い地元企業などについて特別講義があり、同大の大学院生など約80人が受講した。

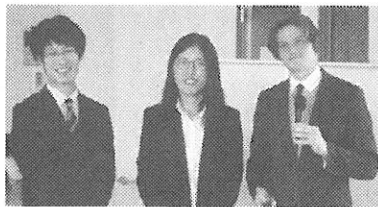


藏田東広島市長の間に、大学だけでなく地元東広島でもいろいろな経験を積み、活躍して欲しい」と参加者に力強いメッセージを送った。

特別講義は、大学院共通授業科目の中で実施している「技術経営(MOT)教育」の授業の一環として実施された。同大の学生は、「MOT教育」の中で、大学で行われている研究や、日本の優れた技術を経営に活かす、イノベーションを起こせる人材となるよう、企業の技術戦略やイノベーション戦略について学ぶ一方で、地域の産業や地方創生における地域連携についても学習している。藏田市長は「東広島には世界の中でもオンリーワンとなっている地元企業がたくさんある。学生の間に、大学だけでなく地元東広島でもいろいろな経験を積み、活躍して欲しい」と参加者に力強いメッセージを送った。

=広島大学=

留学生が自助支援プロジェクト



発表するHUSAプログラム留学生

広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)の留学生がこのほど、東広島キャンパスの学生プラザにおいて、「グローバル・リーダーシップ・プロジェクト」大学と地域の協働「留学生の自助支援」実践研究グループプロジェクト中間発表会第1回を開催した。

語と日本語の司会・進行のもと、自助支援プロジェクトの提案を行った。留学生は、昨年10月にプロジェクトを開始し、地域住民にアンケート調査をするなどして、地域との連携を目指して進めている。今回は4グループが留学生による自助支援の企画発表を行った。

発表会は、地域公開として開催され、地域企業や市議会からも参加を得るとともに、学内の教員、大学院生からも貴重なフィードバックがあった。企画を意義あるものにするための貴重な示唆を得るとともに、厳しい審査を受けることができた。

現在、地域で開催される特有の文化行事の紹介、留学生に役立つ東広島市の病院の情報、自炊に役立つための調理法の紹介など、留学生生活に役立つ自助支援のプロジェクトが進行中だ。

会総会・懇親会

広島大学体育会同窓会は2月4日、総会・講演会・懇親会を広島市内のホテルで開催した。当日は、卒業生、在学生、教職員など延べ260人が集まり、会場を埋め尽くした。

総会では、第15回皇(すめらぎ)賞の表彰式が行われ、クラブやクラブ同窓会に貢献した9人を表彰。同賞は、同大体育会同窓会初

1チング論の講演が行われた。出口教授は、柔道におけるコーチングの指標構築を研究し、アテネオリンピックのコーチを務めた経験を持つ。参加者は、出口教授の理論と実践を交えた講演に熱心に聞き入った。

懇親会では、山根恒弘会長(工学部卒、ヨット部OB)、ヤマネホールディング



出席した体育会同窓